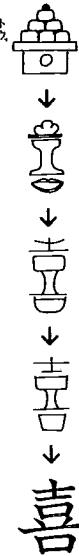


喜

四年
画数 12
筆順 + + 吉 喜 喜 喜
ウン よろこひぶ

成り立ち



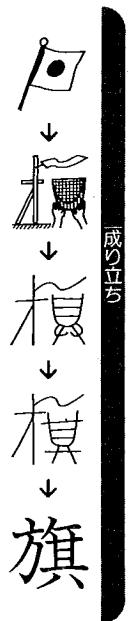
豆 (神前にそなえる物をのせる道具) の上にそなえ物がたくさんのがた形を表した「喜」と「口」とを組み合わせて作った字です。

神前のそなえ物は、あとで下げる人々の口に入れますので、そなえ物がたくさんあることは「よろこばしい」ことです。「よろこばしい」という意味を表したもので、「よろこび」ことです。

また、「おもしろい」「こつけい」という意味にも使われます。例: 喜劇。

旗

四年
筆順 14
画数
オン キ
ウン はた



成り立ち

「旗」に旗がひるがえっている形を表した「旗」

と、「旗」(穀物のからやちりを取りのぞくために穀物を入れてふるう道具で、長方形の形をしたもの)の形を表し、「旗」の本字の「其」とを組み合わせて作った字です。

「旗」のように長方形の形をした「旗」のことを表した字です。中国には、「旒」や「旄」や「旌」など、いろいろな形の旗があつて、「旗」はその一つですが、わが国では、どんな形のものも「旗」という字で表しています。

「其」のついた字には、「基」(年 679) や「期」(年 274) や「棋」、「幕」などがあります。

△犬のタローを散步(サンボ)につれ出しました。タローは、散歩の時間が来ると、いつも大喜びで、走ります。

犬は、なぜ、あんなに散歩が好きなのか、不思議です。

△わたしは、きのうテレビで、「じやじや馬ならし」というシェークスピアの喜劇を見ました。

熟語例

△喜怒哀樂(キナガキ) (人間のさまざまな感情。喜び、怒り、悲しみ、楽しみなど。「あの人は、喜怒哀樂の激しい人だ」などというふうに、つかいます。)

△喜一憂(キチユウ) (情況が変わるたびに、喜んだり、心配したりすること。「本の主人公とともに、一喜一憂した」などというふうに、つかいます。)

△喜色(キショク) (うれしそうな顔色。「試験で百点満点を取った人は、喜色満面だった」などというふうに、つかいます。)

△国旗(コッキ) (国の旗。国の象徴として定められた旗)

△日章旗(ニッショウキ) (日の丸の旗のこと)

△校旗(コッキ) (学校の旗)

△白旗(しらぎ) (白い旗。とくに、降参(ヨクサン)の時にかかげる旗。「白旗をかかげて降参した」などといういいまわしがあります。)

△軍旗(ぐんき) (軍隊の旗)

△弔旗(ラウキ) (とむらいの旗。だれか死んだのを悲しんで、かげる旗)

△半旗(ハニキ) (だれか死んだ時に、旗をさおの先から三分の一ほど下につけて、弔意(ラウイ)をあらわすこと。)